

輸送経済

THE YUSO-KEIZAI

第2840号 昭和24年4月23日 (第三種郵便物認可)

4/7

平成21年
(2009)
(火曜日)
週刊

苫小牧に物流センター

オー・エル・エス

潤滑油配送本格化に向け

オー・エル・エス(本社・東京、原幹人社長)は平成二十二年六月の完成をめどに、北海道での潤滑油配送業務本格化に向け苫小牧市内に物流センターを建設する。

同社は潤滑油など危険物の倉庫保管や配送を扱う。新センターは郡山、九州、盛岡に次ぐ四拠点目となる。

同市内一本松町に建設

を予定。敷地面積は約一万三千五百平方メートル。潤滑油など危険物を保管する三・四石倉庫二棟、一・二石倉庫一棟を設置する。屋外には約五千本のドラム貯蔵が可能。フォークリフトなど七台の荷役機器を備える。

JR貨物苫小牧駅に隣接し、苫小牧西港のフェリーターミナルからも約

三キロという立地。同社は、年間で約二万キロリットルの取り扱い能力を見込んでおり、将来的には五万キロリットルに拡充する方針。

「幅広く石油元売り各社などに利用を提案し、共同基地・共同配送による潤滑油物流コスト低減と環境問題改善に役立ちたい」(同社)。